



計画の位置づけ

この計画は、第五次平生町総合計画の下位に位置付けられる計画で、第五次平生町総合計画で掲げる目指すべき将来像「自然豊かな活気あふれる幸せのまち平生」の実現をICTの側面から支援するための計画です。

第五次平生町総合計画
「自然豊かな活気あふれる 幸せのまち 平生」

平生町DX推進計画

平生町行政改革推進計画

平生町DX推進計画 概要版

計画期間2023年度～2027年度

計画の目的

近年、ICT(情報通信技術)は急速な進展を続けており、スマートフォンやタブレット端末など、町民の身近な生活の中にもICTが欠かせないものとなっています。

本町においても、デジタル技術の活用により、新しい社会に対応し、町に住むことの満足度を向上させるため、「平生町DX推進計画」を策定し、利用者目線に立った新たな価値の創出に必要な施策を実行していきます。

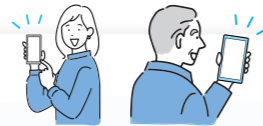
計画の基本方針

- ① 行政手続等のデジタル化により、利便性を高め、町民の満足感・幸福感(Well-Being)の向上を図ります。
- ② デジタル技術による業務効率化を図り、職員でなければできない業務への集中化を図ります。
- ③ マイナンバーとの連携による、町民に寄り添った利便性の高い行政サービスを実現します。
- ④ 国の標準化・共通化の方針に従い中長期的なデジタル費用を削減します。

DXを取り入れたまちのイメージ



ぬくもりのあるまち



快適で便利なまち

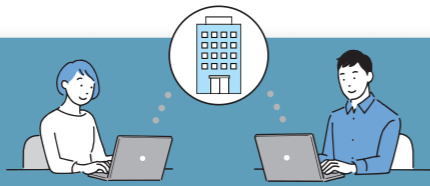


住みやすいまち



住民サービス向上

- 全住民へのデジタルの恩恵
- 職員が住民の身近でサービス
- 相談の充実



Well-Beingの向上

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、「幸福」と翻訳されることも多い言葉



業務の効率化

- 職員がコア業務に注力
- デジタル技術の活用
- 柔軟な働き方

取組事項

①業務のデジタル化

No	取組事項	取組の概要
①	「書かない窓口」の導入	マイナンバーカードや運転免許証に格納されている情報を利用して各種申請書の作成支援をするシステムを導入します。
②	電子申請やSNSによるサービス拡充	町のLINE公式アカウントを使って、行政情報の発信や各種電子申請などが行えるよう、行政サービスを拡充します。
③	AI・RPAの利用推進	業務所管課でAI・RPAを使えるように人材育成を図るとともに、業務のデジタル化やデータの整備を検討・推進していきます。
④	行政手続のオンライン化	行政手続のオンライン化及びキャッシュレス決済の導入など、デジタル化による利便性の向上を図ります。
⑤	業務のペーパーレス化	庁内ネットワークを活用し、ペーパーレス会議を推進します。また、ペーパーレス会議システムを導入し、対象会議の拡大を進めます。
⑥	自治体の情報システムの標準化・共通化	ガバメントクラウド等に係る標準準拠システムを構築し、令和7年度末を目標に基幹系20業務を移行します。
⑦	マイナンバーカードの普及促進	カードの利用機会の創出を図り、普及促進につながる取組を行います。
⑧	オープンデータの推進	本町が保有する公共データについて、有効に活用してもらえるよう努めます。

②DX推進のための人材育成

No	取組事項	取組の概要
⑨	基本的なデジタル技術等の習得	主体的かつ積極的にデジタル技術活用に取り組めるよう、職員の意識改革や人材育成を進めます。
⑩	専門的な人材育成	研修の受講を促進し、資格取得者や技術実務経験者の確保に努めます。また、外部人材の積極的な活用を検討します。

③デジタルデバйд対策

No	取組事項	取組の概要
⑪	デジタルデバйд対策	町民の誰もがデジタル化のメリットを享受できるように、デジタル活用支援を行います。